



常任

委員会からののお知らせ



各常任委員会では、年間テーマを決め、先進地の視察で行った調査・研究等を参考に提言書として市長に提出しています。今回はその視察内容についてお知らせします。

常任委員会とは？

地方自治法第109条に基づいて設置された委員会です。知立市議会では分野別に4常任委員会（市民政策委員会、福祉教育委員会、都市建設委員会、予算・決算委員会）が設置され、所管する議案や請願などを審査します。



市民政策委員会

政策
提言

災害ボランティアセンター体制強化

視察地① 災害ボランティアセンターの運営体制について（熊本県玉名市）

行政と社会福祉協議会が連携し、災害時に迅速なボランティアセンター運営を行うため、平時から訓練や関係機関との連携強化に取り組んでいる。

視察地② 大規模災害時の支援体制と受援力強化について（熊本県八代市）

令和2年7月豪雨災害の経験を踏まえ、災害ボランティアセンターの機能強化と外部支援の受入体制整備を進め、関係機関が連携した支援体制の構築に取り組んでいる。



災害対応を学ぶ視察研修
（熊本県玉名市）



福祉教育委員会

政策
提言

子どもたちがより豊かに成長できる放課後の過ごし方の実現

視察地① 放課後児童施策について（東京都国立市）

学童保育所を中心に放課後児童健全育成事業を展開しており、市内各小学校区に学童保育所を配置している。保護者の就労等により昼間家庭で保育が困難な児童を対象に、安全確保と健全育成を目的とし、小学校敷地内や児童館内などを活用し地域と連携した運営が行われている点が特徴である。

視察地② アフタースクール事業について（千葉県千葉市）

学校・教育委員会・運営事業者の三者で役割分担や情報共有を明確化した「アフタースクール導入・運営マニュアル」を整備しており、学校現場の負担軽減や、障がいのある児童・特別な配慮を必要とする児童への対応についても共通理解を図っている。



子育て支援複合施設にて
説明を受ける
（東京都国立市）



都市建設委員会

政策
提言

持続可能な地域公共交通のベストミックス構築

視察地① 自動運転バスを活用した既存路線維持の取組（神奈川県平塚市）

運転手不足への対応と既存バス路線の維持を目的に、大型路線バスによる自動運転実証を実施。安全性、道路環境、運行上の課題、市民理解の進め方について確認した。

視察地② 自動運転EVバス「じょっぴー」による地域交通の取組（茨城県常陸太田市）

運転手不足や高齢者等の移動手段確保に対応するため、自動運転EVバスを継続運行。市役所、駅、商業施設等を結ぶ日常生活を支える交通として活用している。



自動運転バスの乗車体験
（茨城県常陸太田市）